

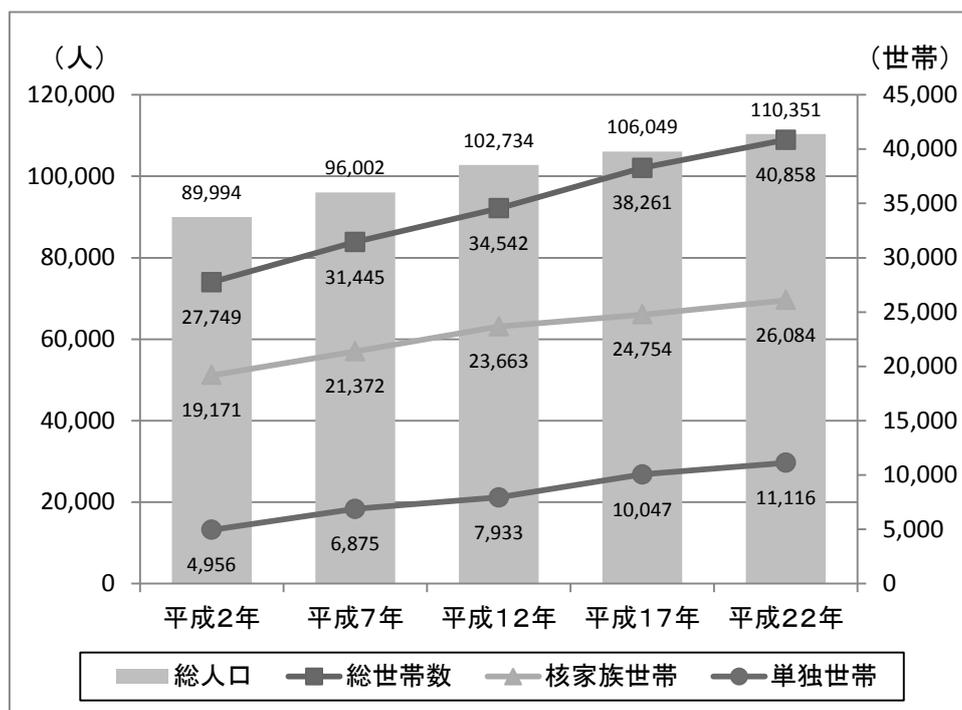
参考資料編

1. 浦添市の概況

(1) 浦添市の総人口・世帯数等の推移

浦添市の総人口は平成22年の国勢調査では110,351人となっており、増加傾向で推移している。一方で、平成12年～平成22年の直近10年間の総人口の伸びは、平成2年～平成12年の10年間の伸びに比べて鈍化してきている様子が見られる。

浦添市の総世帯数は平成22年の国勢調査では40,858世帯となっており、総人口と同様に増加傾向で推移している。また、核家族世帯数、単独世帯数についても、総人口・総世帯数の増加に伴い増加傾向にある。特に単独世帯については、平成12年から10年間で増加率が40.1%となっており、一人暮らし世帯の増加が総世帯数増加の一因となっていることがうかがえる。



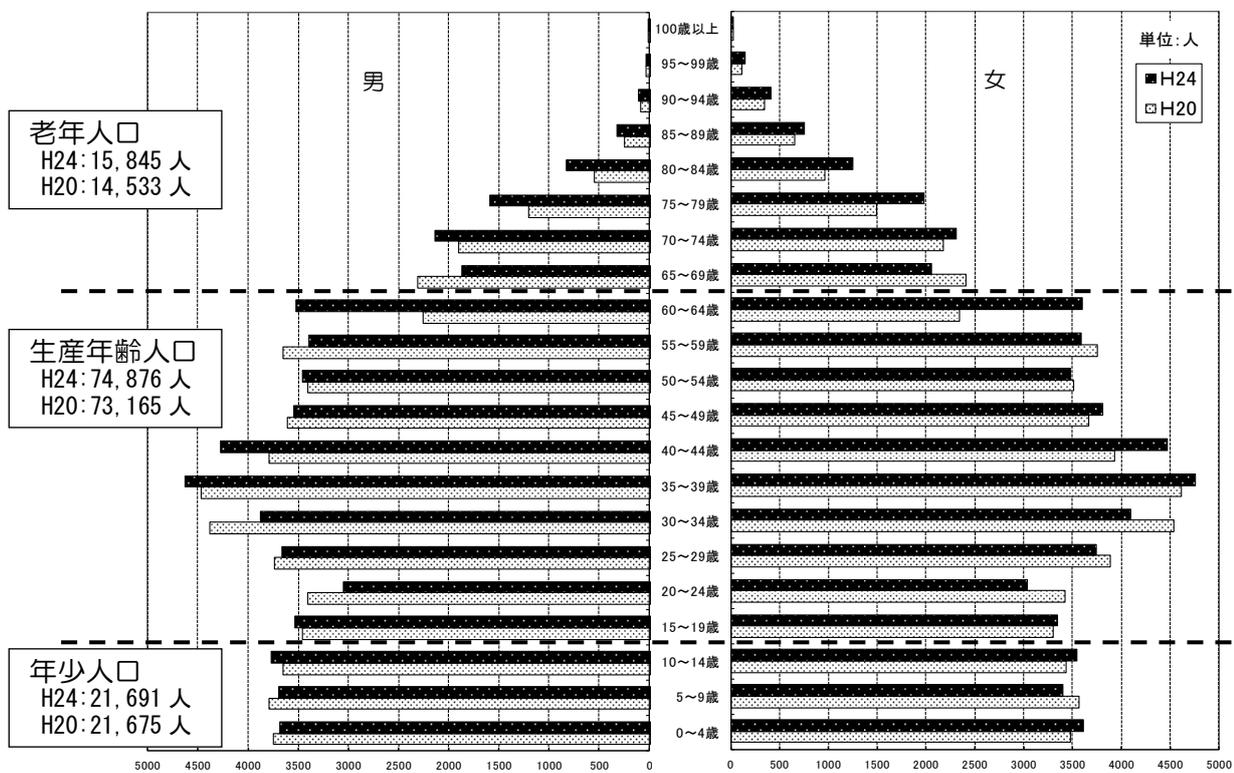
資料：国勢調査

(2) 浦添市の人口構成

人口ピラミッドより本市の人口構成全体をみると、団塊ジュニア世代である30代後半～40代前半が最も多く、次いで団塊世代の60代前半並びに15歳未満の人口数が高くなっている。団塊世代が平成24～26年かけて65歳をむかえることから、高齢者数の増加が見込まれる。また平成20年と24年を比較すると、平成20年の15～19歳人口が、5年後の平成24年では、20～24歳人口がさほど多くなっておらず、市外への転出数が市内の転入数を上回っていることを示している。

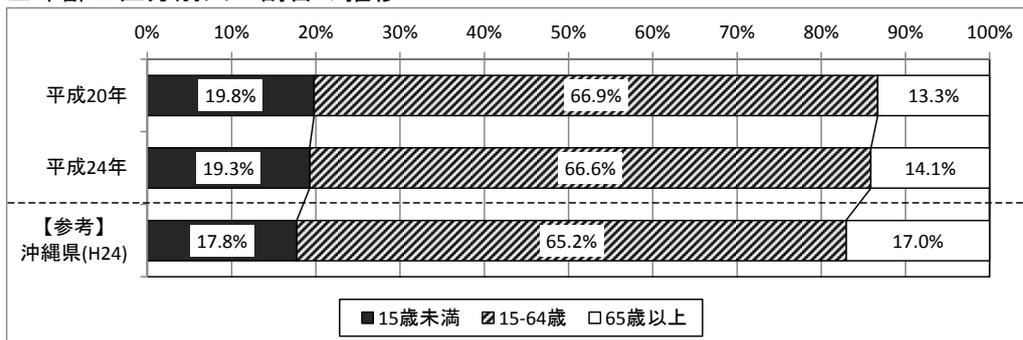
年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15～64歳）は微減、老年人口（65歳以上）は微増傾向にある。また、県全体と比較すると比較的若い世代が多いことがうかがえる。

■人口ピラミッド（5歳階級別）



資料：浦添市統計資料 各年3月末現在

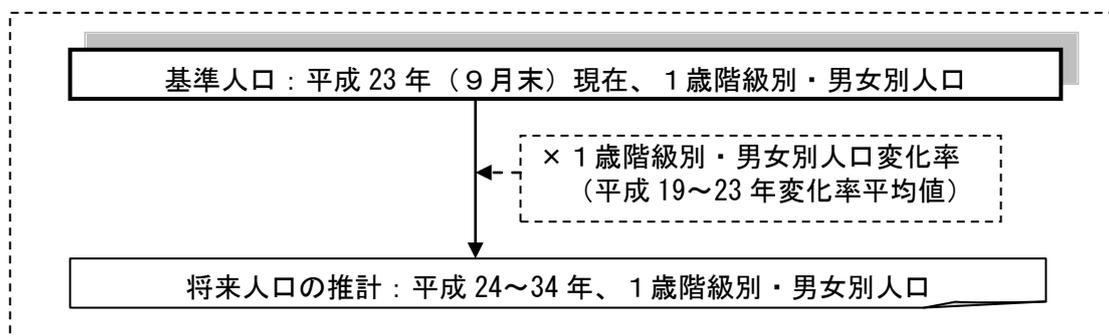
■年齢3区分別人口割合の推移



資料：浦添市統計資料 各年3月末現在

(3) 浦添市の人口推計

(人口推計の手順)



(人口推計の方法)

○目標年（平成 34 年度）に至る将来人口等の推計については、フローで示したように、基準年における男女別・1 歳階級別人口に変化率（センサス変化率）を掛け合わせ推計していく方法によって行う。

○センサス変化率とは、「年をとることによる住民の年齢層の移動による人口の変化を年齢層ごとにみた増減率」のことで、センサス変化率を用いた人口推計では将来にわたりこの変化率が変わらないものとして使用するため、変化率（実績値）の設定がポイントとなる。

(推計人口の算出)

○将来人口の推計においては、2007 年から 2011 年の 5 年間の男女別・1 歳階級別人口（住民基本台帳ベース）の実績から変化率（4 区間）を算出し、その平均の変化率（男女別・1 歳階級別）を使用して、基準年人口（2011 年 10 月 1 日）から各年に乗じて算出していくこととする。

◆センサス変化率を用いた推計の例

(男性)

	基準年 (B年)	平均変化 率 (固定)	B+1年	平均変化率 (固定)	B+2年	平均変化率 (固定)
0歳	100人	1.00	〇〇人※	1.00	〇〇人※	1.00
1歳	100人	0.99	100人	0.99	〇〇人	0.99
2歳	100人	1.01	99人	1.01	99人	1.01
3歳	100人	0.98	101人	0.99	99人	0.99
⋮						
合計	●●人		●●人		●●人	

※0歳児人口の算出について

・女性人口（25歳～34歳）に対する0歳児の割合（2007年～2011年平均）を将来人口（25～34歳女性人口）に乘じ、さらに男女児性比（2007年～2011年平均）により男女0歳児人口を算出する。

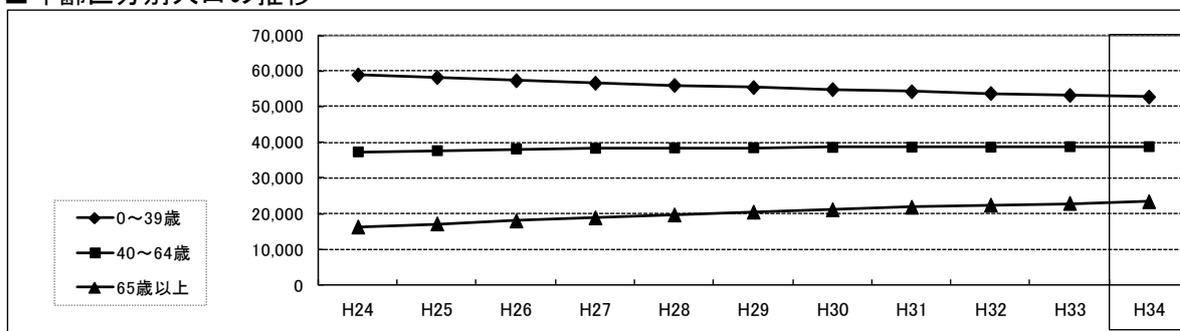
平成 19～23 年（各年 9 月末現在）までの住民基本台帳に基づいた変化率による人口推計を行ったところ、総人口は年々増加傾向にあり、平成 34 年までに、基準年人口（平成 23 年）の約 2,900 人多い、114,890 人と予測される。高齢化率においては、平成 34 年までに約 2 割（20.3%）になることが見込まれる。年齢区分別人口の推移においても、0～39 歳が減少傾向にあり、65 歳以上の高齢者が増加傾向にあることから、少子高齢化が年々進行していくことが示されている。

■将来人口及び将来高齢者人口の推計

	基準年人口	推計値											
	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32	2021 H33	2022 H34	
0～39歳	59,557	58,927	58,189	57,314	56,608	55,978	55,390	54,815	54,210	53,713	53,183	52,727	
40～64歳	36,869	37,346	37,671	38,141	38,338	38,443	38,492	38,591	38,665	38,665	38,796	38,804	
65歳以上	15,551	16,240	17,123	17,946	18,817	19,641	20,421	21,107	21,795	22,396	22,869	23,359	
65～74歳(前期高齢者)	8,334	8,590	9,032	9,423	9,872	10,252	10,705	11,114	11,542	12,144	12,707	12,783	
75歳以上(後期高齢者)	7,217	7,650	8,091	8,523	8,945	9,389	9,717	9,994	10,254	10,252	10,162	10,576	
総人口	111,977	112,513	112,983	113,402	113,763	114,062	114,303	114,513	114,671	114,774	114,848	114,890	
高齢化率	13.9%	14.4%	15.2%	15.8%	16.5%	17.2%	17.9%	18.4%	19.0%	19.5%	19.9%	20.3%	

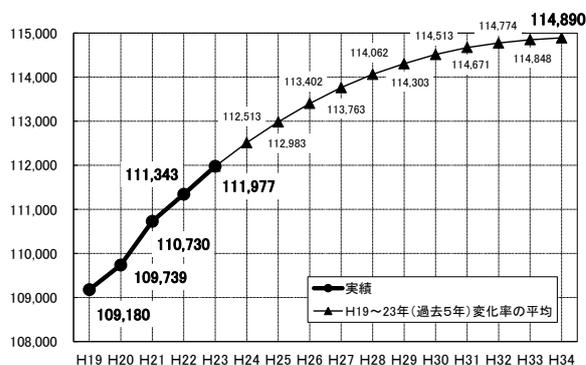
資料：住民基本台帳人口各年9月現在より作成(浦添市統計資料)

■年齢区分別人口の推移

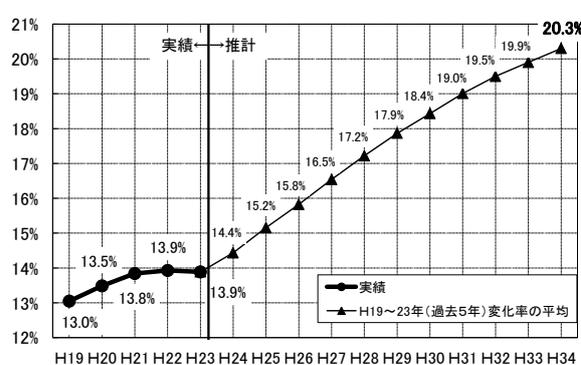


資料：住民基本台帳人口各年9月現在より作成(浦添市統計資料)

■総人口の実績及び推計



■高齢化率の実績及び推計



(4) 産業

浦添市における就業者割合の推移をみると、第一次産業はほぼ横ばいに推移し、第二次産業は減少傾向にあり、第三次産業は8割以上から8割弱へと若干減少している。

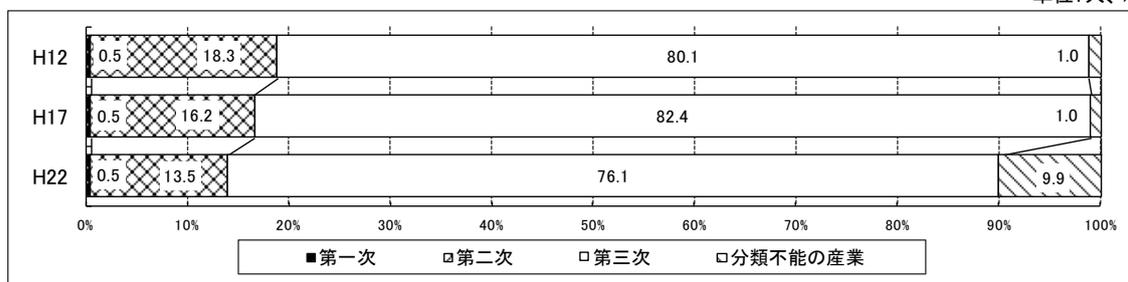
事業所の立地状況の推移を見ると、第1～3次産業の全ての産業区分において、事業所数が若干減少している。

飲食店に注目すると、飲食店数及び飲食店の第3次産業に占める割合は減少傾向にある。

従業者規模別事業所数を見ると各年度ともに、従業員数が1～4人の事業所が、約6割から6割強と最も多く、次いで5～9人の事業所が2割弱と高くなっていることから、9人以下の小規模事業所が全体の75%以上にあることが示されている。

■就業者割合の推移

単位：人、%



資料：国勢調査

■事業所状況（事業所の立地状況）

年度	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業					
				総数	その他	飲食店		飲食店の割合	
						一般飲食店 ※2	その他の飲食店		
H13	5,704	3	644	5,057	4,229	828	263	565	16.4%
H18	5,486	3	581	4,902	4,164	738	249	489	15.1%
H21	5,324	2	552	4,770	4,106	664	240	424	13.9%

※1 平成21年の経済センサス基礎調査は、産業分類の基準としている日本標準産業分類の改定(H19年)等に伴い、産業分類が平成13,18年事業所・企業統計調査より大きく変更している。

資料：平成13, 18年事業所・企業統計調査(浦添市統計資料)
平成21年経済センサス基礎調査(浦添市統計資料)

※2 一般飲食店 … 食堂、レストラン、喫茶店、専門料理店(日本料理店、中華料理店)、ハンバーガー店等
その他飲食店 … バー、キャバレー、ナイトクラブ、酒場、ビヤホール等

■従業者規模別事業所数（民営の場合）の割合

従業者数	H13	H18	H21
1～4人	62.6% (3,508 事業所)	61.9% (3,336 事業所)	60.1% (3,147 事業所)
5～9人	18.6% (1,045 事業所)	18.4% (989 事業所)	18.1% (946 事業所)
10～19人	9.6% (537 事業所)	9.6% (517 事業所)	10.8% (568 事業所)
20～29人	3.4% (192 事業所)	3.8% (204 事業所)	4.1% (214 事業所)
30人以上	5.8% (324 事業所)	6.3% (338 事業所)	6.7% (350 事業所)
合計	100.0% (5,606 事業所)	100.0% (5,386 事業所)	100.0% (5,238 事業所)

資料：平成13, 18年事業所・企業統計調査(浦添市統計資料)
平成21年経済センサス基礎調査(浦添市統計資料)

(5) 生活保護の状況

生活保護率の順位を県内11市と比較すると、平成20～22年度における浦添市の順位は、県内7～8位と比較的低い順位にあるが、浦添市のこの間の変化をみると、被保護人員、保護率ともに増加傾向にある。

次に世帯別に生活保護の状況をみると、平成20～22年度のいずれの年も高齢者の割合が最も高く、次いで傷病者・障害者、その他、母子の順となっている。

また、単身世帯をみると、高齢単身世帯が最も多く全体の半数以上を占めている。

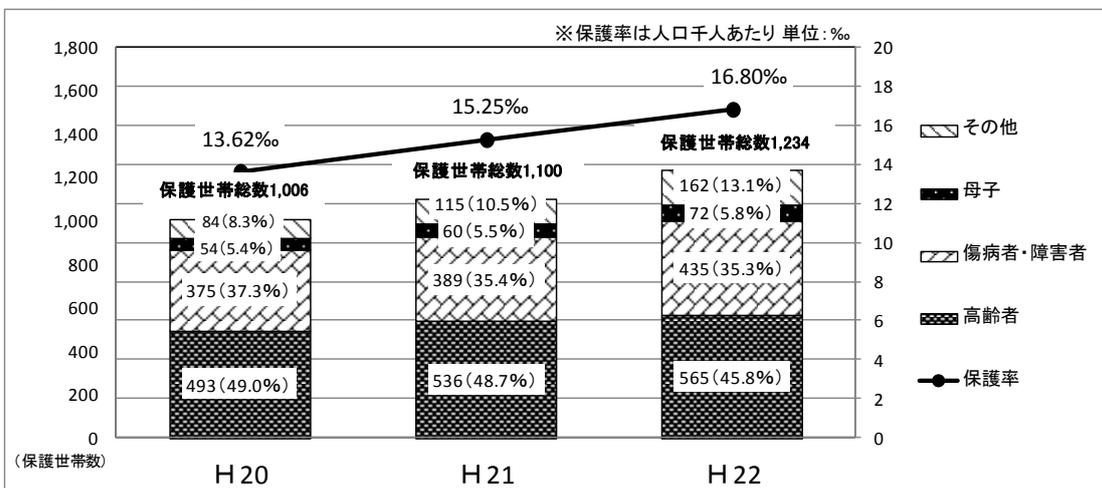
■生活保護率

※保護率は人口千人あたり 単位: %

年度		全国	沖縄県	浦添市
平成20年度	被保護人員	159万	24,391	1,501
	保護率	12.5	17.7	13.62
	順位	—	全国3位	県内8位
平成21年度	被保護人員	176万	26,573	1,691
	保護率	13.8	19.20	15.25
	順位	—	全国3位	県内8位
平成22年度	被保護人員	195万	29,028	1,875
	保護率	15.2	20.8	16.80
	順位	—	全国3位	県内7位

資料: 浦添市統計資料(保護課)[平成20年度は年度平均、平成21・22年度は3月末現在]
: 福祉行政報告例(厚生労働省)

■浦添市の生活保護世帯の状況



資料: 福祉保健の概要[各年度年度平均]

■浦添市の生活保護単身世帯の状況

年度	実数／構成比	生活保護 単身世帯総数	生活保護単身世帯の内訳		
			高齢者	障害者	その他
平成20年度	実数	787	447	159	181
	構成比(%)	100.0%	56.8%	20.2%	23.0%
平成21年度	実数	860	478	165	217
	構成比(%)	100.0%	55.6%	19.2%	25.2%
平成22年度	実数	899	493	183	223
	構成比(%)	100.0%	54.8%	20.4%	24.8%

■生活保護開始理由

単位：世帯、%

年度	開始総数		開始理由				1ヵ月平均	
			疾病に起因しない収入の減少	疾病による収入の減少、支出の増加	世帯の主たる生計従事者の死亡、離別、行方不明	仕送り、年金等の減少、喪失		その他
H20	実数(人)	193	76	79	4	1	33	16.1
	構成比(%)	100	39.4%	40.9%	2.1%	0.5%	17.1%	
H21	実数(人)	220	68	100	10	3	39	18.3
	構成比(%)	100	30.9%	45.5%	4.5%	1.4%	17.7%	
H22	実数(人)	274	99	128	6	5	36	22.8
	構成比(%)	100	36.1%	46.7%	2.2%	1.8%	13.1%	

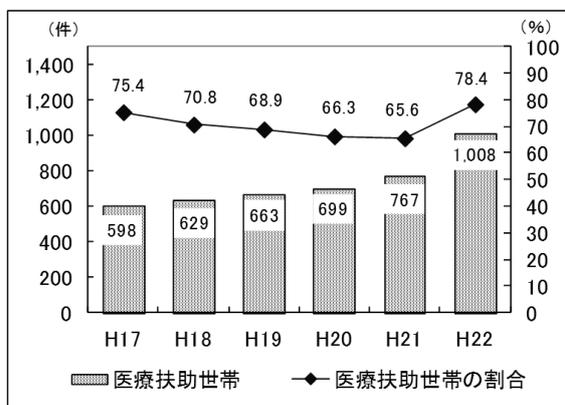
資料：保健福祉の概要

生活保護開始理由としては、疾病による収入の減少、支出の増加が約4割から5割弱と最も多く、次いで疾病に起因しない収入の減少が約3割から4割弱と高い割合となっている。また、生活保護を開始する世帯数を1ヵ月平均で見ると、年々と微増している。

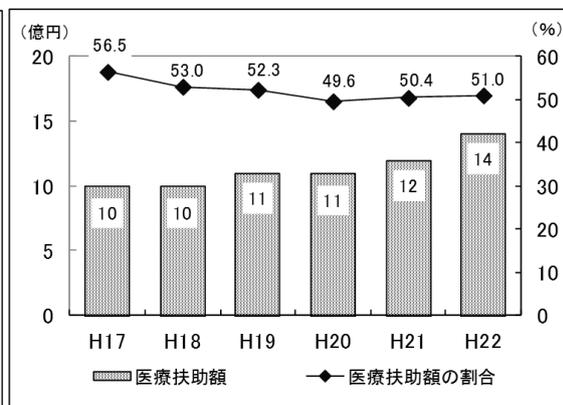
医療扶助世帯については、平成17年から年々増加し、平成22年度においては、医療扶助世帯の割合が全扶助世帯の8割弱と高い割合となっている。医療扶助額をみると、平成17年度から増加傾向にあるが、扶助額の全体としては、若干の減少がみられる。

■医療扶助の人数と費用額

医療費扶助世帯の推移



医療扶助額の推移



資料：保健福祉の概要

2. 浦添市の保健に関する概況

(1) 死亡の状況

1) 主要死因と早世の要因

浦添市の死亡状況をみると、平成22年においては悪性新生物が第1位で、第2位が心疾患、肺炎が第3位、脳血管疾患が第4位になっている。平成18年から平成22年の経年でみると、平成21年から脳血管疾患と肺炎の順位が入れ替わっている。

また、早世(65歳未満)死亡の減少については、平成18年との比較では減少しているが、全国及び県と比べると高い割合となっている。死因としては悪性新生物が第1位で、平成20年以降の第2位が自殺となっている。

■ 浦添市の主要死因の変化

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
		原因(人口10万対)	原因(人口10万対)	原因(人口10万対)	原因(人口10万対)	原因(人口10万対)
死亡状況	総数	509人	590人	588人	571人	663人
	第1位	悪性新生物 132.0	悪性新生物 158.5	悪性新生物 155.8	悪性新生物 139.1	悪性新生物 172.4
	第2位	心疾患 77.6	心疾患 77.9	心疾患 60.1	心疾患 56.0	心疾患 83.5
	第3位	脳血管疾患 47.1	脳血管疾患 50.4	脳血管疾患 42.8	肺炎 46.1	肺炎 48.5
	第4位	肺炎 32.3	肺炎 36.6	肺炎 38.3	脳血管疾患 31.6	脳血管疾患 47.6
	第5位	肝疾患・不慮の事故 12.9	肝疾患・不慮の事故・自殺 17.4	自殺 22.8	自殺 24.4	自殺 21.6
65歳未満死亡状況	合計	134人 26.3%	142人 24.1%	146人 24.8%	145人 25.4%	160人 24.1%
	男性	96 33.9%	100 30.0%	98 31.1%	110 34.6%	110 31.3%
	女性	38 16.8%	42 16.4%	48 17.6%	35 13.8%	50 16.1%
	原因内訳					
	第1位	悪性新生物 36	悪性新生物 51	悪性新生物 58	悪性新生物 45	悪性新生物 55
	第2位	心疾患 22	脳血管疾患 15	自殺 16	自殺 22	自殺 19
第3位	脳血管疾患 16	心疾患 14	肝疾患 13	脳血管疾患 13	心疾患 18	
第4位	不慮の事故 14	自殺 17	脳血管疾患 9	心疾患 12	不慮の事故 13	
第5位	自殺 12	不慮の事故 9	心疾患 8	不慮の事故 9	脳血管疾患・肺炎 6	

■ 65歳未満死亡の割合（都道府県順位）

順位	総 数				男 性				女 性				順位
	H20年		H22年		H20年		H22年		H20年		H22年		
1	浦添市	24.8	浦添市	24.1	浦添市	31.1	浦添市	31.3	浦添市	17.6	浦添市	16.1	1
2	沖縄	21.9	沖縄	20.9	沖縄	28.5	沖縄	27.5	埼玉	14.7	沖縄	13.3	2
3	埼玉	19.8	埼玉	18.2	埼玉	23.9	埼玉	22.2	沖縄	13.8	埼玉	13.2	3
4	千葉	18.7	千葉	16.9	千葉	23.1	千葉	21.0	神奈川	13.5	神奈川	12.3	4
5	大阪	18.3	神奈川	16.8	大阪	22.6	大阪	20.9	千葉	13.4	千葉	12.1	5
6	神奈川	18.2	大阪	16.7	東京	22.1	東京	20.7	大阪	13.1	大阪	11.7	6
7	東京	17.6	東京	16.4	神奈川	22.0	青森	20.5	北海道	12.7	北海道	11.7	7
8	愛知	17.2	青森	15.9	愛知	21.4	神奈川	20.4	東京	12.2	東京	11.4	8
9	北海道	16.7	愛知	15.7	茨城	21.3	茨城	20.0	愛知	12.1	愛知	11.1	9
10	栃木	16.6	北海道	15.7	青森	21.2	栃木	19.9	栃木	11.2	青森	10.6	10
11	茨城	16.4	茨城	15.5	栃木	21.2	福岡	19.6	福岡	11.1	栃木	10.4	11
12	福岡	16.4	栃木	15.4	福岡	21.2	愛知	19.5	★全国	10.9	茨城	10.3	12
13	青森	16.3	福岡	15.1	宮城	20.6	北海道	19.1	宮城	10.9	福岡	10.2	13
14	宮城	16.1	★全国	14.8	★全国	20.2	★全国	18.9	兵庫	10.7	★全国	10.0	14
15	★全国	15.8	兵庫	14.6	北海道	20.2	宮城	18.8	青森	10.6	兵庫	10.0	15
16	兵庫	15.6	群馬	14.2	兵庫	20.1	兵庫	18.7	茨城	10.6	静岡	9.7	16
17	群馬	15.1	宮城	14.1	長崎	19.2	長崎	18.6	宮崎	10.6	奈良	9.7	17
18	宮崎	15.0	長崎	13.8	宮崎	19.2	群馬	18.5	群馬	10.6	滋賀	9.5	18
19	京都	14.7	京都	13.8	京都	19.2	京都	18.2	岐阜	10.2	群馬	9.5	19
20	滋賀	14.7	石川	13.8	滋賀	19.1	愛媛	18.1	静岡	10.1	京都	9.3	20
21	広島	14.6	静岡	13.8	広島	19.0	広島	18.1	奈良	9.9	石川	9.2	21
22	静岡	14.6	滋賀	13.7	群馬	18.9	石川	18.0	京都	9.9	宮崎	9.0	22
23	長崎	14.5	広島	13.6	山梨	18.9	福島	18.0	広島	9.8	岩手	8.9	23
24	奈良	14.3	愛媛	13.6	岩手	18.8	山梨	17.8	滋賀	9.8	宮城	8.9	24
25	岩手	14.3	岩手	13.5	福島	18.7	岩手	17.7	佐賀	9.7	岐阜	8.9	25
26	愛媛	14.2	山梨	13.4	鳥取	18.5	滋賀	17.7	富山	9.6	長崎	8.9	26
27	佐賀	14.2	福島	13.3	愛媛	18.5	宮崎	17.6	愛媛	9.6	広島	8.8	27
28	福島	14.1	宮崎	13.3	奈良	18.5	鹿児島	17.5	長崎	9.4	愛媛	8.7	28
29	岐阜	14.0	奈良	13.0	静岡	18.4	静岡	17.5	岡山	9.2	三重	8.7	29
30	富山	13.9	岐阜	13.0	佐賀	18.4	高知	17.3	岩手	9.1	和歌山	8.6	30
31	三重	13.8	佐賀	12.9	三重	18.2	秋田	17.1	和歌山	9.1	山口	8.6	31
32	山梨	13.6	三重	12.8	石川	18.0	鳥取	17.0	福島	9.1	佐賀	8.6	32
33	石川	13.6	鳥取	12.8	香川	17.9	徳島	17.0	大分	8.9	鳥取	8.5	33
34	鳥取	13.5	熊本	12.7	富山	17.8	佐賀	17.0	熊本	8.9	山梨	8.5	34
35	香川	13.4	鹿児島	12.7	熊本	17.4	熊本	16.9	石川	8.9	熊本	8.5	35
36	和歌山	13.4	秋田	12.7	岐阜	17.3	岡山	16.8	三重	8.8	福島	8.2	36
37	岡山	13.3	和歌山	12.6	新潟	17.3	三重	16.7	香川	8.6	香川	8.2	37
38	新潟	13.2	香川	12.5	和歌山	17.3	岐阜	16.6	高知	8.6	富山	8.2	38
39	熊本	13.2	岡山	12.5	鹿児島	17.3	香川	16.6	新潟	8.6	鹿児島	8.0	39
40	大分	13.1	高知	12.4	高知	17.1	新潟	16.6	徳島	8.6	秋田	7.9	40
41	高知	12.9	徳島	12.4	岡山	17.1	和歌山	16.4	秋田	8.5	岡山	7.9	41
42	秋田	12.9	山口	12.4	大分	17.0	大分	16.2	山口	8.5	福井	7.8	42
43	鹿児島	12.8	富山	12.3	秋田	16.9	富山	16.2	鳥取	8.4	大分	7.8	43
44	徳島	12.8	新潟	12.1	徳島	16.7	奈良	16.0	鹿児島	8.3	徳島	7.5	44
45	山口	12.5	大分	12.1	島根	16.5	山口	15.9	福井	8.1	高知	7.4	45
46	福井	12.1	福井	11.4	山口	16.3	島根	15.1	長野	7.9	山形	7.4	46
47	長野	12.0	山形	11.0	山形	16.3	福井	14.8	山梨	7.8	新潟	7.4	47
48	山形	11.9	島根	10.8	福井	16.0	山形	14.4	山形	7.4	長野	7.1	48
49	島根	11.9	長野	10.7	長野	15.8	長野	14.2	島根	7.0	島根	6.5	49

平成20年 平成22年 人口動態調査

2) 職業別、原因・動機別自殺者の推移

①自殺者数の推移

平成22年度は、全国、沖縄県、浦添市ともに、前年度（平成21年度）に比べて自殺者総数で減少している。

全国、沖縄県は男女ともに減少しているが、浦添市は男性が減少、女性は増加傾向にある。また、全国、沖縄県は男女比が男性7割、女性3割であるのに対し、浦添市は女性が4割と女性の占める割合が高いことがうかがえる。

	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
全国	22,831	9,418	32,249	23,462	9,367	32,829	21,944	9,338	31,282
沖縄県	250	87	337	296	101	397	257	91	348
浦添市	19	6	25	18	9	27	13	10	23

②自殺率（人口10万人当）

浦添市の自殺率（人口10万人当）を全国及び沖縄県と比較すると、どの年度においても割合は低い。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
全国	25.31	25.76	24.62
沖縄県	23.58(全国32位)	28.19(全国13位)	24.75(全国23位)
浦添市	22.74	23.58(県内21位)	20.75(県内23位)

※平成20年度は他市町村のデータがないため順位なし

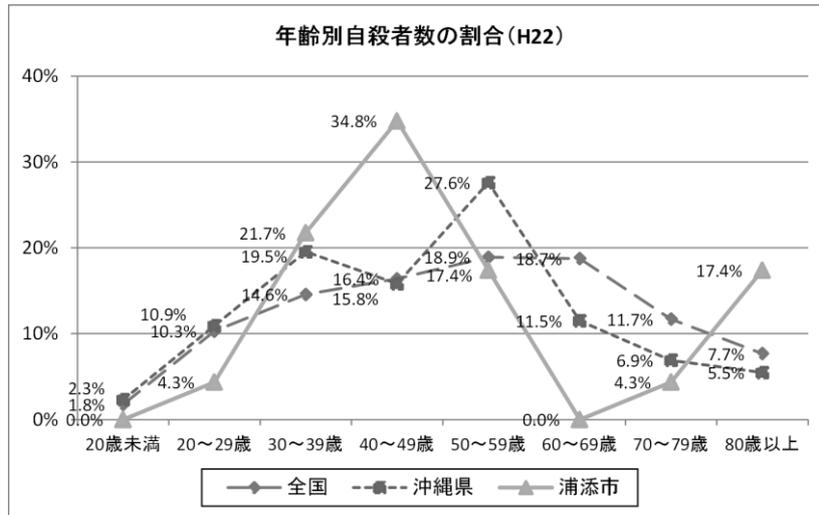
③年齢別自殺者数の推移

全国では、40～60代が全体の半数を占めており、高い割合を示している。

沖縄県では、特に50代の割合が高く、全体の3割を占めている。

浦添市では、30～50代の割合が高く、特に40代が全体の3割半と高い割合を占めている。

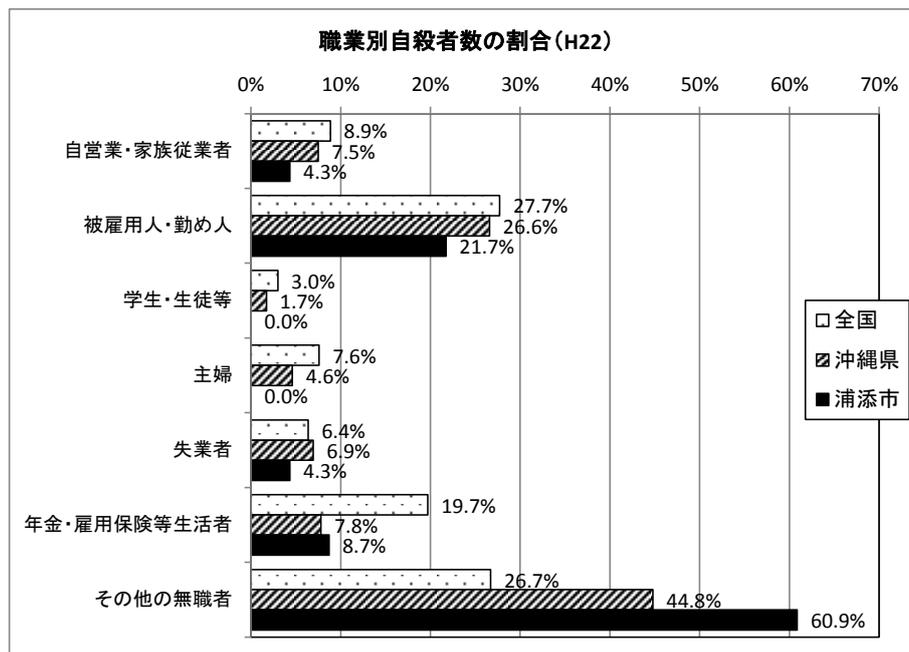
		20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
全国	H21年度	566	3,471	4,793	5,255	6,484	5,952	3,673	2,402
	H22年度	547	3,203	4,535	5,101	5,882	5,832	3,640	2,388
沖縄県	H21年度	2	42	57	88	106	48	35	17
	H22年度	8	38	68	55	96	40	24	19
浦添市	H21年度	0	3	6	3	9	2	4	0
	H22年度	0	1	5	8	4	0	1	4



④職業別自殺者数の推移

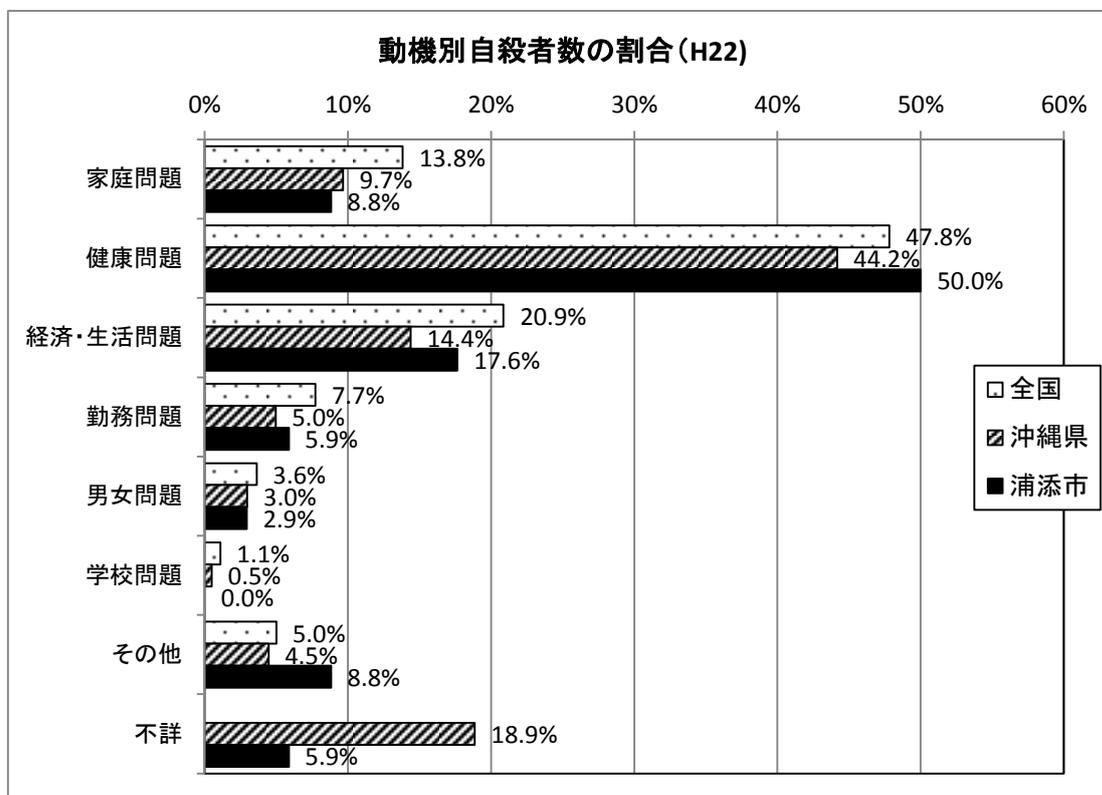
全国では「被雇用人・勤め人」が最も多いのに対し、沖縄県及び浦添市では「その他の無職者」が最も多くなっている。

		有職者		無職者				
		自営業・家族従業者	被雇用人・勤め人	学生・生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者
全国	H21年度	3,201	9,157	944	2,294	2,337	6,021	7,931
	H22年度	2,710	8,478	920	2,325	1,950	6,023	8,173
沖縄県	H21年度	45	99	5	13	12	41	175
	H22年度	26	92	6	16	24	27	155
浦添市	H21年度	1	5	0	3	0	1	14
	H22年度	1	5	0	0	1	2	14



⑤自殺の原因・動機

自殺の原因・動機としては、全国、沖縄県、浦添市ともに健康問題が最も多くなっている。



3) 年齢調整死亡率^{注2)} でみた沖縄県の死亡の特徴

全国と比較して沖縄県の男性は、悪性新生物（がん）は全国的な値より低く、順位も後半に位置している。全体的に値は減少傾向にあるが、肝疾患についてはこの10年間でいずれの年も1位となっている。

一方、女性についてみると、全体的に値は下がっているが、自殺の値・順位が共に急激に上昇している。

また、肝疾患、糖尿病が男女ともに高い値を示している。これらの病気は、生活習慣と関係が深く、特に食生活や飲酒・喫煙習慣が大きく影響している。

■沖縄県の男女別年齢調整死亡率（人口10万対）

区分		男性						推移	女性						推移
		全国			沖縄県				全国			沖縄県			
		H12	H17	H22	H12	H17	H22		H12	H17	H22	H12	H17	H22	
悪性新生物(がん)	死亡率	214.0	197.7	182.4	194.8	177.1	158.9	↓	103.5	97.3	92.2	85.8	89.2	85.2	↓
	順位	—	—	—	43位	46位	46位		—	—	—	46位	43位	41位	
肺がん	死亡率	46.3	44.6	42.4	55.0	46.1	38.9	↓	12.3	11.7	11.5	13.5	14.5	11.5	↓
	順位	—	—	—	3位	18位	43位		—	—	—	7位	2位	16位	
心疾患	死亡率	85.8	83.7	74.2	78.9	71.2	71.8	↑	48.5	45.3	39.7	39.6	40.0	34.7	↓
	順位	—	—	—	39位	44位	8位		—	—	—	47位	40位	42位	
急性心筋梗塞	死亡率	29.7	25.9	20.4	33.3	28.0	25.0	↓	14.2	11.5	8.4	15.1	16.1	9.8	↓
	順位	—	—	—	12位	21位	10位		—	—	—	13位	3位	18位	
脳血管疾患	死亡率	74.2	61.9	49.5	63.5	51.9	48.4	↓	45.7	36.1	29.6	30.0	23.1	22.4	↓
	順位	—	—	—	42位	45位	24位		—	—	—	47位	47位	43位	
自殺	死亡率	30.7	31.6	29.8	42.4	39.4	36.2	↓	10.7	10.7	10.9	11.1	8.7	13.2	↑
	順位	—	—	—	3位	8位	8位		—	—	—	17位	42位	4位	
肝疾患	死亡率	14.0	12.6	11.2	20.8	21.1	17.9	↓	4.4	4.2	3.8	5.1	7.5	5.8	↓
	順位	—	—	—	1位	1位	1位		—	—	—	8位	1位	2位	
糖尿病	死亡率	7.8	7.3	6.7	10.2	10.0	7.6	↓	4.4	3.9	3.3	6.3	6.3	4.1	↓
	順位	—	—	—	2位	1位	11位		—	—	—	2位	1位	7位	

資料：厚生労働省ホームページより

注2) 年齢調整死亡率：年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率が年齢調整死亡率（人口10万対）である。この年齢調整死亡率を用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正確に地域比較や年次比較をすることができる。

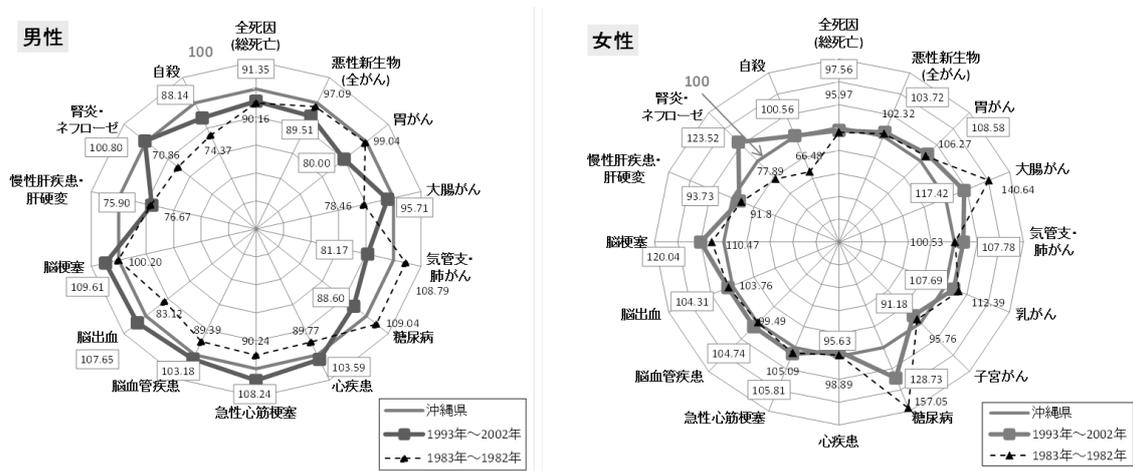
4) 標準化死亡比 (SMR) ^{注3)} でみる死亡の特徴

浦添市の標準化死亡比 (図8) をみると、全死因では男女ともに 100 を下回る比率となっている。

男性は、主に心疾患系、脳血管疾患系、腎炎・ネフローゼの比率が 100 を超えており、それ以外の死因については 100 を下回っている。1983～1992 年と比較すると、主に胃がん、気管支・肺がん、糖尿病の比率は低下しているが、その他の項目は横ばい又は上昇傾向にある。

女性では、1983～1992 年と比較して、糖尿病や大腸がんの項目で改善がみられるものの、県全体と比べると依然として高い状態にある。また、腎炎・ネフローゼ、自殺の比率が大幅に上昇している状況が見受けられる。

■性別にみる疾病別標準化死亡比 (浦添市) (1983 年～1992 年, 1993 年～2002 年)



※便宜上 1993～2002 年の値を で示している

資料：沖縄県の市町村別標準化死亡比 (SMR) ～1973-2002～平成 17 年 沖縄県福祉保健部健康増進課 沖縄県衛生環境研究所

注3) 標準化死亡比 (SMR)：地域の年齢構成を均一にした死亡率のことで、SMRは、県全体を 100 とし、100 より大きい時は県に比べて死亡率が高いことを意味している。

(2) 健康診査及び健康診査結果の概要

1) 特定健診及び特定保健指導

生活習慣病の発症予防、重症化予防の最も重要な取組みである、医療保険者による特定健康診査・特定保健指導は、平成23年度の法定報告で、受診率34.3%、保健指導実施率は46.8%となっている。特定保健指導実施率においては、国の目標である45%を上回っているものの、特定健康診査受診率においては、国の目標65%に達していない状況となっている。

■特定健康診査受診率の推移

NO	平成21年度			平成22年度				平成23年度				
	市町村	対象者数	受診者数	受診率	市町村	対象者数	受診者数	受診率	市町村	対象者数	受診者数	受診率
1	竹富町	1,011	628	62.1	多良間村	370	234	63.2	北大東村	112	71	63.4
2	多良間村	381	231	60.6	東村	543	335	61.7	多良間村	356	220	61.8
3	与那国町	378	224	59.3	座間味村	253	150	59.3	南大東村	329	201	61.1
4	座間味村	250	144	57.6	南大東村	336	198	58.9	東村	523	314	60.0
5	東村	546	305	55.9	竹富町	1,001	584	58.3	竹富町	985	591	60.0
6	北大東村	110	61	55.5	与那国町	371	214	57.7	座間味村	257	151	58.8
7	国頭村	1,277	701	54.9	北大東村	111	63	56.8	大宜味村	875	509	58.2
8	南大東村	344	186	54.1	国頭村	1,226	646	52.7	与那国町	372	212	57.0
9	伊平屋村	331	179	54.1	伊平屋村	327	171	52.3	宜野座村	1,167	632	54.2
10	渡嘉敷村	152	75	49.3	宜野座村	1,137	560	49.3	国頭村	1,219	656	53.8
11	大宜味村	929	447	48.1	大宜味村	889	418	47.0	渡嘉敷村	142	74	52.1
12	伊江村	1,582	721	45.6	渡名喜村	124	56	45.2	伊平屋村	318	162	50.9
13	宜野座村	1,124	505	44.9	伊江村	1,556	694	44.6	南風原町	5,673	2,697	47.5
14	恩納村	2,328	1,034	44.4	今帰仁村	2,347	1,045	44.5	伊是名村	334	158	47.3
15	渡名喜村	125	53	42.4	恩納村	2,348	1,042	44.4	伊江村	1,550	730	47.1
16	南城市	8,233	3,437	41.7	渡嘉敷村	151	66	43.7	渡名喜村	118	55	46.6
17	久米島町	2,136	857	40.1	南城市	8,268	3,510	42.5	南城市	8,280	3,738	45.1
18	石垣市	9,647	3,820	39.6	南風原町	5,543	2,336	42.1	恩納村	2,326	1,030	44.3
19	今帰仁村	2,354	932	39.6	石垣市	9,682	3,757	38.8	今帰仁村	2,391	1,005	42.0
20	西原町	5,676	2,100	37.0	久米島町	2,081	803	38.6	金武町	2,554	1,071	41.9
21	嘉手納町	3,049	1,097	36.0	伊是名村	364	139	38.2	石垣市	9,704	4,021	41.4
22	南風原町	5,669	2,035	35.9	読谷村	8,030	2,995	37.3	読谷村	8,003	3,289	41.1
22	金武町	2,582	914	35.4	名護市	11,010	4,094	37.2	久米島町	2,076	853	41.1
24	中城村	3,114	1,090	35.0	西原町	5,789	2,147	37.1	名護市	11,193	4,315	38.6
25	北中城村	3,252	1,130	34.7	宮古島市	11,801	4,371	37.0	宮古島市	11,896	4,481	37.7
26	名護市	10,963	3,787	34.5	金武町	2,530	930	36.8	西原町	5,920	2,211	37.3
27	伊是名村	369	123	33.3	嘉手納町	2,973	1,056	35.5	与那原町	2,883	1,072	37.2
28	宮古島市	11,850	3,895	32.9	浦添市	17,995	6,282	34.9	那覇市	54,777	19,598	35.8
29	読谷村	7,979	2,614	32.8	那覇市	54,819	19,069	34.8	本部町	3,125	1,118	35.8
30	八重瀬町	4,997	1,610	32.2	糸満市	10,099	3,500	34.7	沖縄県	262,563	94,058	35.8
31	粟国村	166	53	31.9	沖縄県	261,469	89,999	34.4	糸満市	10,122	3,591	35.5
32	沖縄県	262,055	83,424	31.8	八重瀬町	5,030	1,686	33.5	嘉手納町	2,911	1,032	35.5
33	那覇市	55,264	17,423	31.5	粟国村	161	54	33.5	八重瀬町	5,050	1,784	35.3
34	糸満市	10,039	3,004	29.9	中城村	3,075	1,023	33.3	粟国村	156	55	35.3
35	北谷町	5,029	1,478	29.4	北中城村	3,251	1,068	32.9	浦添市	18,115	6,217	34.3
36	豊見城市	8,933	2,596	29.1	本部町	3,066	1,007	32.8	北中城村	3,261	1,071	32.8
37	本部町	3,101	900	29.0	豊見城市	9,044	2,797	30.9	豊見城市	9,162	2,960	32.3
38	うるま市	24,808	7,169	28.9	うるま市	24,898	7,459	30.0	中城村	3,131	988	31.6
39	浦添市	18,008	4,849	26.9	与那原町	2,868	842	29.4	沖縄市	25,528	7,739	30.3
40	沖縄市	25,075	6,412	25.6	宜野湾市	15,855	4,411	27.8	うるま市	24,597	7,349	29.9
41	宜野湾市	15,994	3,934	24.6	北谷町	5,003	1,367	27.3	北谷町	5,043	1,449	28.7
42	与那原町	2,900	671	23.1	沖縄市	25,144	6,820	27.1	宜野湾市	16,029	4,588	28.6

■特定保健指導実施率の推移

NO	平成21年度				平成22年度				平成23年度			
	市町村	対象者数	終了者数	実施率	市町村	対象者数	終了者数	実施率	市町村	対象者数	終了者数	実施率
1	伊平屋村	39	35	89.7	伊平屋村	40	38	95.0	伊平屋村	32	27	84.4
2	南大東村	51	37	72.5	国頭村	112	89	79.5	本部町	215	150	69.8
3	南城市	633	439	69.4	南城市	672	450	67.0	南城市	637	444	69.7
4	嘉手納町	239	145	60.7	南大東村	50	32	64.0	宜野座村	151	97	64.2
5	糸満市	564	332	58.9	糸満市	647	411	63.5	国頭村	114	73	64.0
6	渡名喜村	17	10	58.8	北谷町	263	160	60.8	今帰仁村	208	132	63.5
7	八重瀬町	313	166	53.0	北中城村	188	114	60.6	糸満市	611	369	60.4
8	豊見城市	430	218	50.7	読谷村	582	339	58.2	伊是名村	58	35	60.3
9	西原町	464	235	50.6	本部町	219	125	57.1	読谷村	652	381	58.4
10	渡嘉敷村	16	8	50.0	嘉手納町	209	119	56.9	北大東村	16	9	56.3
11	与那原町	115	57	49.6	伊是名村	39	22	56.4	北谷町	257	140	54.5
12	竹富町	132	65	49.2	西原町	419	233	55.6	南風原町	473	258	54.5
13	中城村	248	117	47.2	渡嘉敷村	11	6	54.5	伊江村	145	77	53.1
14	浦添市	865	408	47.2	恩納村	217	113	52.1	嘉手納町	184	97	52.7
15	宜野座村	119	55	46.2	今帰仁村	238	123	51.7	久米島町	199	102	51.3
16	南風原町	359	159	44.3	浦添市	1,158	587	50.7	竹富町	117	60	51.3
17	東村	72	31	43.1	伊江村	141	71	50.4	豊見城市	476	243	51.1
18	恩納村	212	90	42.5	中城村	202	101	50.0	宜野湾市	737	370	50.2
19	北中城村	214	90	42.1	豊見城市	465	232	49.9	うるま市	1,457	725	49.8
20	粟国村	12	5	41.7	宜野湾市	771	377	48.9	中城村	185	91	49.2
21	金武町	208	86	41.3	金武町	207	101	48.8	八重瀬町	323	158	48.9
22	宜野湾市	720	278	38.6	宜野座村	129	62	48.1	北中城村	176	83	47.2
22	宮古島市	703	267	38.0	南風原町	445	212	47.6	恩納村	191	90	47.1
24	本部町	191	70	36.6	八重瀬町	295	131	44.4	浦添市	998	467	46.8
25	沖縄県	16,460	5,930	36.0	沖縄県	17,173	7,234	42.1	金武町	225	105	46.7
26	伊是名村	31	11	35.5	竹富町	106	43	40.6	沖縄県	16,895	7,864	46.5
27	今帰仁村	207	70	33.8	久米島町	180	72	40.0	西原町	409	187	45.7
28	那覇市	3,121	993	31.8	座間味村	28	11	39.3	宮古島市	730	330	45.2
29	うるま市	1,595	486	30.5	宮古島市	740	283	38.2	与那原町	187	82	43.9
30	与那国町	53	15	28.3	粟国村	11	4	36.4	南大東村	57	24	42.1
31	石垣市	872	244	28.0	うるま市	1,566	543	34.7	名護市	814	340	41.8
32	読谷村	534	141	26.4	与那原町	140	47	33.6	粟国村	12	5	41.7
33	国頭村	157	40	25.5	石垣市	811	268	33.0	座間味村	34	14	41.2
34	名護市	798	181	22.7	北大東村	13	4	30.8	多良間村	39	16	41.0
35	北大東村	10	2	20.0	那覇市	3,418	1,041	30.5	渡名喜村	10	4	40.0
36	久米島町	180	34	18.9	沖縄市	1,303	393	30.2	沖縄市	1,435	560	39.0
37	大宜味村	90	15	16.7	東村	80	23	28.8	渡嘉敷村	16	6	37.5
38	北谷町	307	50	16.3	大宜味村	89	25	28.1	那覇市	3,221	1,145	35.5
39	沖縄市	1,321	213	16.1	多良間村	41	11	26.8	石垣市	865	297	34.3
40	伊江村	172	27	15.7	名護市	853	203	23.8	大宜味村	100	34	34.0
41	座間味村	24	2	8.3	与那国町	57	13	22.8	東村	67	21	31.3
42	多良間村	52	3	5.8	渡名喜村	18	2	11.1	与那国町	62	16	25.8

特定健康診査の受診回数別の結果を見てみると、初めての受診者は、ほとんどの健診データが継続受診者より悪い状態となっている。

健康診査の機会を提供し保健指導を実施することにより、生活習慣病の発症予防、重症化予防に繋げることが重要である。

■平成23年度 特定健康診査受診者の受診回数別結果

受診勧奨値のうちガイドラインを踏まえた受診勧奨対象者			全体		継続受診者 過去に1回以上受診がある者		H23年度 初めて受診者				
受診者数			6,701 人	100.0%	4,788 人	71.5%	1,913 人	28.5%			
項目		基準値	人数	割合	人数	割合	人数	割合			
身体の大きさ		BMI	25以上	2,598 人	38.8%	1,829 人	38.2%	769 人	40.2%		
		腹囲	85or90以上	2,730 人	40.7%	1,907 人	39.8%	823 人	43.0%		
血管が傷む (動脈硬化の 危険因子)	内臓脂肪	中性脂肪		400以上	87 人	1.3%	51 人	1.1%	36 人	1.9%	
		HDLコレステロール		34以下	94 人	1.4%	59 人	1.2%	35 人	1.8%	
	インスリン 抵抗性	血糖	空腹時血糖		126以上	414 人	6.6%	274 人	6.0%	140 人	8.0%
			HbA1c		6.5以上	389 人	5.8%	252 人	5.3%	137 人	7.2%
			計			517 人	7.7%	340 人	7.1%	177 人	9.3%
	血管を 傷つける	血圧	収縮期		160以上	178 人	2.7%	115 人	2.4%	63 人	3.3%
			拡張期		100以上	114 人	1.7%	58 人	1.2%	56 人	2.9%
計				241 人	3.6%	145 人	3.0%	96 人	5.0%		
その他の動脈硬化危険因子		LDLコレステロール	160以上	858 人	12.8%	574 人	12.0%	284 人	14.8%		
腎機能		尿蛋白	2+以上	151 人	2.3%	94 人	2.0%	57 人	3.0%		
		eGFR	50or40未満	190 人	2.8%	139 人	2.9%	51 人	2.7%		
		尿酸	9.0以上	76 人	1.1%	49 人	1.0%	27 人	1.4%		

2) 特定健康診査結果の概要

平成 22 年度の特定健康診査結果(メタボリックシンドローム)の状況をみると、男性、女性ともにメタボ該当者の割合は県平均を下回っている。

生活習慣病に関連する各種データを概観すると、先のメタボ該当者及び予備群の状況と連動した結果となっている。多くのデータで県平均を下回っているものの、県平均と市の値に大きな差はなく、高 LDL や尿蛋白で県平均を上回る状況となっている。

全国的にみれば、本県は肥満者のいる割合が高く、生活習慣病の発症リスクが高い状況となっている。したがって、その数値に近い本市においても、生活習慣病の発症増が懸念される状況にあると推察される。

H22年度 特定健康診査 沖縄県(男性) ～11市別～

順位	メタボリックシンドローム関連項目										動脈硬化危険因子										高血圧への影響															
	肥満					ヘモグロビンA1c					血糖					LDL					腎機能															
	該当者数	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合								
1	宮古島市	817	37.6	宮古島市	1,144	52.7	沖繩市	354	12.1	石垣市	784	43.4	名護市	1,305	64.9	名護市	273	13.6	宮古島市	195	9.0	浦添市	1,416	54.3	名護市	263	13.1	石垣市	630	34.8						
2	石垣市	641	35.5	那覇市	1,792	22.7	うるま市	853	10.8	宮古島市	818	49.7	宮古島市	286	13.2	糸満市	848	50.5	名護市	158	7.8	宜野湾市	1,118	54.6	宮古島市	231	10.6	宮古島市	749	34.5						
3	名護市	697	34.6	名護市	456	22.6	石垣市	847	46.8	うるま市	370	10.4	那覇市	3,872	49.1	那覇市	932	11.8	石垣市	613	7.8	沖繩市	1,558	53.2	那覇市	828	10.5	名護市	650	32.3						
4	糸満市	523	31.1	うるま市	778	21.9	名護市	938	46.6	宜野湾市	211	10.3	沖繩市	971	33.1	糸満市	819	49.0	宜野湾市	240	11.7	那覇市	4,048	51.3	糸満市	166	9.9	豊見城市	342	29.5						
5	那覇市	513	31.1	浦添市	568	21.9	豊見城市	527	45.4	沖繩県	4,093	9.9	沖繩県	13,985	32.8	沖繩県	20,048	48.3	石垣市	209	11.6	那覇市	3,673	46.5	沖繩県	2,683	65.5	うるま市	1,812	50.9	浦添市	243	9.4	沖繩県	12,080	29.1
6	豊見城市	353	30.4	沖繩県	8,986	21.7	沖繩県	18,526	44.6	那覇市	158	9.6	那覇市	537	32.5	うるま市	1,707	48.0	糸満市	192	11.5	豊見城市	536	46.2	石垣市	117	6.5	沖繩県	20,617	49.7	豊見城市	108	9.3	糸満市	484	28.8
7	浦添市	1,254	65.5	那覇市	3,496	20.6	那覇市	3,496	44.3	名護市	187	9.3	宜野湾市	648	31.6	豊見城市	556	47.3	浦添市	288	11.2	沖繩県	18,880	45.5	うるま市	193	5.4	名護市	974	48.4	沖繩県	3,722	9.0	那覇市	455	27.5
8	那覇市	2,351	29.8	豊見城市	237	20.4	浦添市	1,140	44.2	豊見城市	106	9.1	糸満市	526	31.3	沖繩市	1,393	47.2	豊見城市	129	11.1	うるま市	1,608	43.2	沖繩市	159	5.4	那覇市	772	46.7	石垣市	144	8.0	那覇市	2,112	26.8
9	うるま市	1,032	29.0	沖繩市	587	20.0	沖繩市	1,249	42.6	石垣市	161	8.9	那覇市	2,472	31.3	宜野湾市	915	44.7	沖繩県	4,599	11.1	沖繩市	1,271	43.4	那覇市	84	5.1	糸満市	778	48.3	うるま市	281	7.9	浦添市	680	28.7
10	沖繩市	808	27.6	糸満市	335	20.0	糸満市	709	42.3	糸満市	139	8.3	うるま市	1,097	30.8	浦添市	1,198	44.0	沖繩市	295	10.1	名護市	831	41.3	豊見城市	56	4.8	豊見城市	531	45.8	宜野湾市	150	7.3	沖繩市	772	26.3
11	浦添市	710	27.5	宜野湾市	406	19.8	宜野湾市	825	40.3	浦添市	213	8.3	浦添市	777	30.1	石垣市	769	42.6	うるま市	349	9.8	浦添市	1,059	41.0	浦添市	115	4.5	石垣市	772	42.7	沖繩市	191	6.5	宜野湾市	538	26.3
12	宜野湾市	560	27.3	那覇市	310	18.8	那覇市	647	39.2	宮古島市	172	7.9	豊見城市	801	36.9	那覇市	161	9.8	宜野湾市	831	40.6	宜野湾市	90	4.4	宮古島市	842	38.7	那覇市	105	6.4	うるま市	883	24.8			

H22年度 特定健康診査 沖縄県(女性) ～11市別～

順位	メタボリックシンドローム関連項目										動脈硬化危険因子										高血圧への影響															
	肥満					ヘモグロビンA1c					血糖					LDL					腎機能															
	該当者数	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合	市町村名	人数	割合					
1	名護市	397	18.0	うるま市	503	12.1	うるま市	1,884	40.6	沖繩市	134	3.5	宮古島市	599	25.9	名護市	1,513	71.0	名護市	215	10.1	宮古島市	1,168	50.5	宮古島市	142	6.1	宜野湾市	1,592	61.3	名護市	174	8.1	宮古島市	150	6.5
2	うるま市	655	15.8	石垣市	229	11.5	宮古島市	893	38.6	豊見城市	43	3.2	石垣市	465	23.4	那覇市	977	56.9	うるま市	336	8.1	糸満市	809	43.1	糸満市	89	4.7	沖繩市	2,362	61.1	宮古島市	178	7.7	名護市	121	5.6
3	宮古島市	319	13.8	名護市	246	11.4	名護市	824	38.3	糸満市	58	3.1	名護市	503	23.4	糸満市	1,015	54.7	宮古島市	173	7.5	那覇市	732	42.3	名護市	97	4.5	浦添市	1,888	61.0	石垣市	114	5.7	石垣市	111	5.6
4	那覇市	238	13.8	糸満市	214	11.4	那覇市	649	37.5	うるま市	128	3.1	うるま市	885	21.3	うるま市	2,254	54.3	石垣市	144	7.3	那覇市	4,506	40.0	那覇市	504	4.5	那覇市	6,709	59.5	那覇市	579	5.1	糸満市	93	5.0
5	沖繩県	6,426	13.1	那覇市	188	10.9	石垣市	710	35.8	宮古島市	69	3.0	那覇市	367	21.2	那覇市	6,108	54.2	糸満市	135	7.3	那覇市	782	39.4	那覇市	76	4.4	うるま市	2,466	59.4	浦添市	160	4.9	那覇市	526	4.7
6	石垣市	258	13.0	沖繩市	411	10.7	沖繩県	17,431	35.6	石垣市	59	3.0	沖繩市	803	20.9	豊見城市	734	53.9	沖繩県	3,527	7.2	沖繩県	16,690	38.1	沖繩県	2,106	4.3	沖繩県	28,877	58.9	沖繩県	2,407	4.9	沖繩県	2,282	4.6
7	糸満市	236	12.6	那覇市	1,183	10.5	沖繩市	1,330	34.5	沖繩市	1,425	2.9	沖繩県	9,861	20.1	沖繩県	26,370	53.8	那覇市	790	7.0	豊見城市	508	37.3	石垣市	82	4.1	那覇市	1,011	58.5	糸満市	89	4.7	浦添市	143	4.4
8	沖繩市	483	12.5	宜野湾市	273	10.5	浦添市	1,123	34.5	名護市	61	2.8	浦添市	620	19.0	沖繩市	1,957	50.8	浦添市	223	6.8	うるま市	1,516	36.5	豊見城市	54	4.0	名護市	1,244	57.8	うるま市	188	4.5	うるま市	163	3.9
9	浦添市	388	11.8	沖繩県	5,297	10.2	糸満市	639	34.1	那覇市	46	2.7	豊見城市	249	18.3	宜野湾市	1,311	50.5	那覇市	114	6.6	宜野湾市	880	33.9	うるま市	153	3.7	糸満市	1,057	56.3	豊見城市	58	4.3	那覇市	66	3.8
10	那覇市	1,302	11.6	浦添市	306	9.4	那覇市	3,745	33.2	那覇市	298	2.6	宜野湾市	464	17.9	浦添市	1,617	49.7	沖繩市	246	6.4	浦添市	1,092	33.5	沖繩市	133	3.5	宮古島市	1,269	54.8	那覇市	65	3.8	沖繩市	141	3.7
11	宜野湾市	291	11.2	宮古島市	215	8.3	宜野湾市	857	33.0	浦添市	83	2.5	那覇市	2,004	17.8	石垣市	966	48.8	宜野湾市	166	6.4	沖繩市	1,281	33.3	浦添市	110	3.4	豊見城市	730	53.6	宜野湾市	95	3.7	宜野湾市	89	3.4
12	豊見城市	135	9.9	豊見城市	122	9.0	豊見城市	428	31.4	宜野湾市	53	2.0	糸満市	325	17.3	宮古島市	945	40.8	豊見城市	85	6.3	名護市	716	33.2	宜野湾市	87	3.4	石垣市	1,006	50.7	沖繩市	112	2.9	豊見城市	42	3.1

(3) 介護保険の概要

1) 介護保険認定者の状況

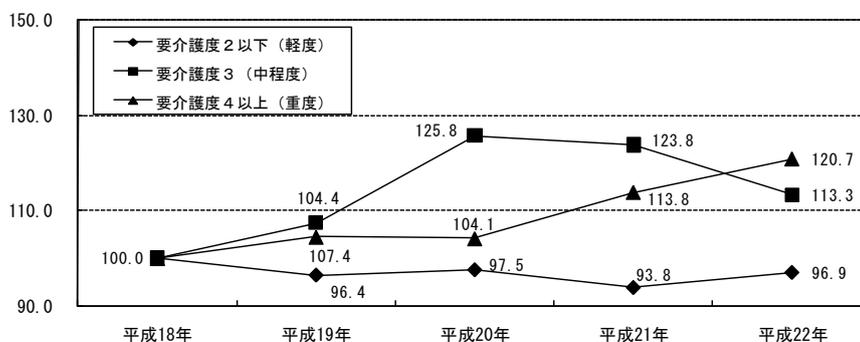
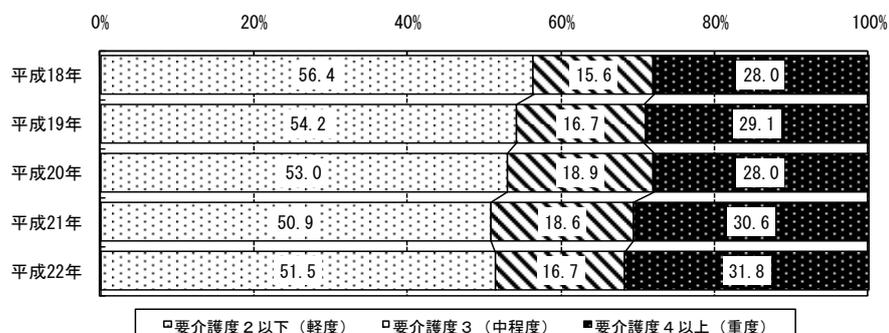
浦添市の要介護（要支援）認定者数の推移をみると、認定者の総数は増加傾向にある。

また、要介護の程度別にみると、要介護2以下の軽度の占める割合は、平成18年度以降減少傾向で推移しており、近年では5割強となっている。一方、要介護4以上の重度の割合は、平成18年度以降増加傾向で推移している。

平成18年度の認定者人数を100とした伸び率の状況をみると、要介護3以上の伸びは平成20年度でピークを迎えそれ以降減少している一方、要介護4以上では平成20年度以降の伸びが大きくなっている。要介護2以下の軽度については、各年増減があるものの、ほぼ横ばいで推移し、平成22年度には平成18年度比で約97%となっている。

■介護度別人数の推移

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
予防 給付	要支援1	209	262	258	225	201
	要支援2	158	191	229	224	271
介護 給付	経過的要介護	86	0	0	0	0
	要介護1	512	396	386	387	388
	要介護2	311	381	371	361	377
	要介護3	353	379	444	437	400
	要介護4	337	343	339	368	396
	要介護5	295	317	319	351	367
計	計	2,261	2,269	2,346	2,353	2,400



資料：介護保険課

2) 第2号被保険者(40~64歳)の特定疾病者の状況

第2号被保険者の要介護認定を受ける要因となった特定疾病の項目別人数は、下表の通りとなっている。

疾病別で見ると、「脳血管疾患」を要因とした出現率が高く、平成22年の出現率は0.2209%となっており、認定者の7割半(74.5%)を占めている。

■第2号被保険者(40~64歳)の特定疾病者の状況

内容	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
40~64歳人口	33,654		34,325		34,967		35,766	
特定疾病項目	疾病者数 (人)	出現率 (%)	疾病者数 (人)	出現率 (%)	疾病者数 (人)	出現率 (%)	疾病者数 (人)	出現率 (%)
がん(末期)	-	-	2	0.0058	7	0.0200	4	0.0112
パーキンソン病関連疾患	2	0.0058	2	0.0058	3	0.0086	3	0.0084
関節リウマチ(慢性関節リウマチ)	4	0.0117	3	0.0087	1	0.0029	2	0.0056
筋萎縮性側索硬化症	1	0.0029	1	0.0029	1	0.0029	1	0.0028
後縦靭帯骨化症	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000
初老期における認知症	6	0.0175	6	0.0175	4	0.0114	6	0.0168
脊髄小脳変性症	4	0.0117	5	0.0146	4	0.0114	2	0.0056
脊柱管狭窄症	0	0.0000	0	0.0000	2	0.0057	2	0.0056
多系統萎縮症	-	-	2	0.0058	3	0.0086	2	0.0056
糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症	5	0.0146	7	0.0204	5	0.0143	5	0.0140
特定疾病以外	-	-	-	-	-	-	-	-
脳血管疾患	86	0.2568	76	0.2214	78	0.2231	79	0.2209
慢性閉塞性肺疾患	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000	0	0.0000
両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形を伴う変形性関節症	1	0.0029		0.0000	0	0.0000	0	0.0000
合計	109	0.3239	104	0.3030	108	0.3089	106	0.2964

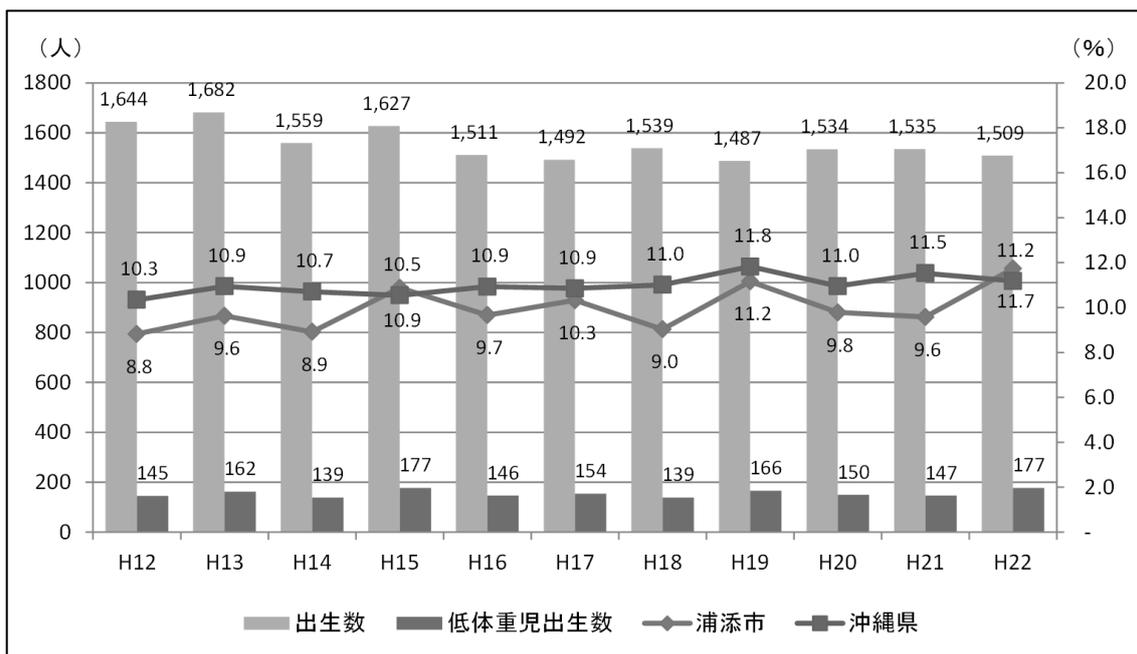
資料：介護保険課

(4) 母子保健の概要

1) 低体重児の出生状況

浦添市の平成12年から平成22年までの出生状況をみると、総数は全体的に微減傾向にある。

一方で、低体重児の出生状況をみると、低体重児の出生数は微減微増を繰り返しているが、全出生数に対する低体重児の割合は微増傾向にある。また、低体重児の割合を県平均と比較すると、全体的に平均を下回っているが、直近の平成22年にはわずかに平均を上回っている。



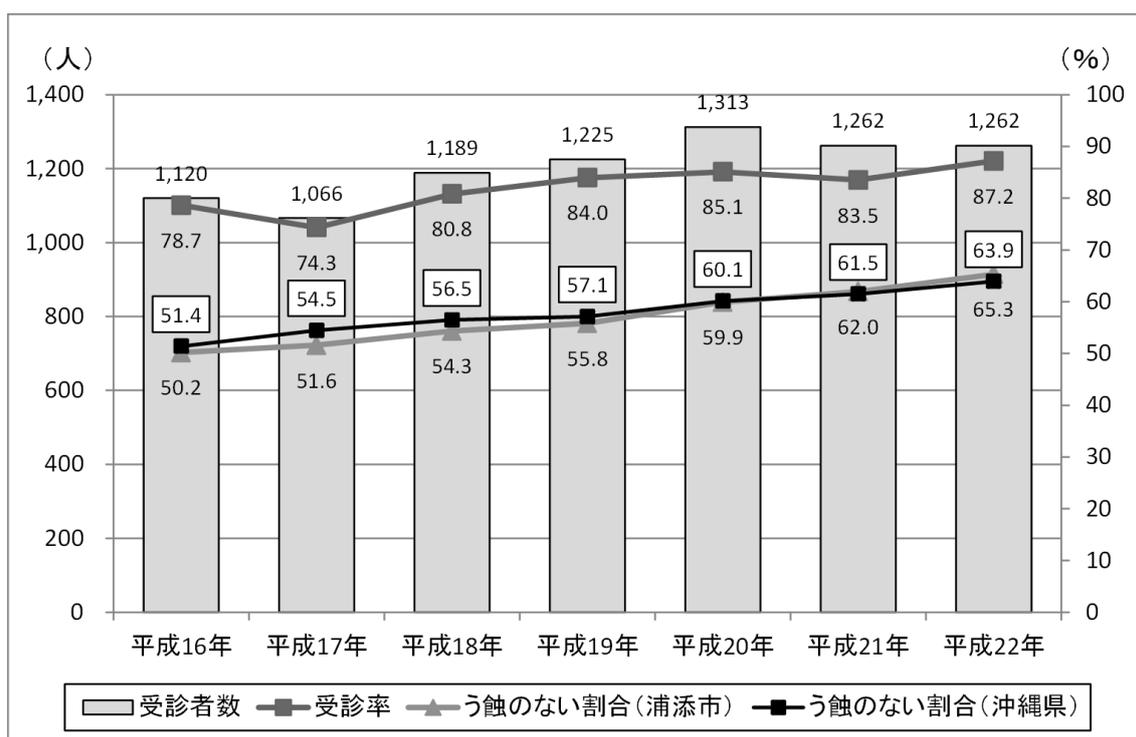
(5) 歯科健診（検診）結果の概要

1) 3歳児歯科健康診査の概要

浦添市の平成16年から平成22年までの3歳児歯科健康診査の受診者数及び受診率は概ね増加傾向で推移している。

また、受診者の中でう蝕のない者の割合をみると、全体的に増加傾向にある。

県平均と比較すると、わずかに平均を下回る年が多いものの、直近の平成22年にはわずかに平均値を上回っている。



※ は沖縄県平均値

2) 歯周疾患検診結果の概要

浦添市の平成21年から平成23年までの歯周疾患検診の受診者数は増加傾向^{*}で推移している。

また、総受診者数に占める有所見者数（要精密検査者＋要指導者）の割合（有所見率）はどの年も9割以上と高くなっている。

今後は、引き続き歯周疾患検診による歯周疾患の早期発見や検診受診者（及び定員数）の増加、歯磨き指導等の歯周疾患予防が課題となっている。

